

事業所名 草津市立発達支援センター湖の子園(児童発達支援)【並行通園クラス】

支援プログラム

作成日

R8年

6月

18日

法人(事業所)理念		児童の心身の機能の発達および集団生活を促進し、これらの児童の育成と福祉の向上を図るよう、適切な療育を提供します。		
支援方針		保護者と共に考え療育をすすめることによって、こどもの健やかな成長発達を支援し、保護者への育児支援を行います。こどもの意欲や興味を育てていくために、その土台となる生活リズムや身体づくり、遊びへの興味関心、人への信頼感をつくっていくことをめざします。人と関わり合いながら、生活世界が広がっていくよう支援します。		
営業時間		月曜日から金曜日の8時30分から午後5時15分 (サービス提供時間 火曜日または木曜日 午後3時から午後4時)	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	家庭や在籍園と連携しながら睡眠、食事、排泄など規則正しい生活リズムを整え、身体をしっかりと使って遊ぶことの積み重ねを大切にします。		
	運動・感覚	運動発達を促す遊びを通して、全身の運動機能の育成や健康な身体づくりをめざします。感覚統合の視点を取り入れたトランポリンやエアポリン、マットの山、木製滑り台、ボールプール、揺れ遊具(スイング、ハンモックなど)などを設定し全身を使った遊びに取り組みます。遊びを通して手先を使う経験を積み重ね達成感や「もっとしたい」という気持ちが感じられることを大切にします。		
	認知・行動	保護者や職員と一緒に遊びながら、こどもが何に興味をもっているかを知り、「みる」「きく」「やってみよう」という意欲を引き出します。また、素材や道具を工夫するとともに、様々な変化する素材(水・粘土・粉・葉・スライム・寒天など)に手足や全身で触れ感触を受容することによって興味や遊びを広げていきます。		
	言語 コミュニケーション	遊びを通して豊かな感情表現を育てます。こどもの表現(ことばや表情、動作など)から思いをくみとり、それらに動作や言葉を添えて返し、伝えたい思いを膨らませたり表出したりすることにつながるよう支援します。		
	人間関係 社会性	親子関係を基盤に、家族以外の大人と安定した関係を築き、仲間に気持ちを向けていくことを支援します。一人ひとりの発達や興味関心に合わせた遊びや生活を繰り返し経験することで、人やものとの関わりを豊かにしていきます。遊びの世界を広げ、仲間に認められ「大きくなった自分」を実感するとともに「人を信頼する心」の育ちにつなげます。		
地域支援・地域連携		・保護者プログラム等を通じて、地域での支援について情報提供します。	移行支援	・必要に応じて関係機関との連携・引継ぎ等を行います。
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの相談・援助を定期的に行い、保護者がこどもの理解を深め、見通しを持って育児ができることをめざします。 ・支援場面の観察や参加等の機会を提供し、必要に応じて個別懇談を設定します。 ・言語聴覚士による懇談の機会を作ります。 ・専門家の講演や保護者間での交流を実施します。 		
職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・医師、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士等による専門指導を受け、療育での支援に活かしています。 ・県内外で実施される療育研修等に積極的に参加しています。 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者がこどもの理解を深め、見通しをもって育児ができることを目指して、研修会を実施します。(療育研修会) 		